

ごあいさつ

■ 人口減少や高齢化の進展、市民ニーズやライフスタイルの多様化、大規模災害への備えの必要性の高まりなど、近年、本市を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。

そのような背景のもと、「歴史文化のまち」、「健康長寿のまち」の2つの都市ビジョンを柱とする『世界に輝く静岡』の実現に向けた羅針盤として「第3次静岡市総合計画」を平成27年3月に策定しました。

また、この都市ビジョンの実現を加速するための事業を盛り込んだ「静岡市総合戦略」を同年10月に策定し、人口減少対策などの取組みを総合的に推進しています。

これらの取組を下支えするため、都市づくりの基本的な方針を示す「静岡市都市計画マスタープラン」を平成28年3月に改定しました。この中で、これまでの「成長・拡大」から「成熟・持続可能」な都市づくりへと舵を切り、「集約連携型都市構造（コンパクトシティ＋ネットワーク）」を将来都市像として掲げ、都市のコンパクト化と公共交通網の再編を連携して進めていくことを示しました。

今回、集約連携型都市構造を支える総合的な交通体系の構築を実現していくための計画として、「静岡市地域公共交通網形成計画」を策定しました。本計画では、公共交通のサービス水準を維持するために、交通事業者同士の役割分担を明確化し、電車、路線バス、タクシーが連携することで効率的な交通体系に再編していくことや、乗り継ぎなどの利用環境の改善による利用促進を行うことで持続可能な公共交通網の構築に取り組んでいきます。

公共交通は、運転免許を持たない人でも安心して移動でき、快適に暮らしていくための、日常生活に欠くことのできない重要な交通インフラです。

出発地から目的地までの様々な交通手段を切れ目なく結び一つのサービスとして提供するICT技術を活用した新たな交通システムの導入検討などにより、過度に自家用車に頼らなくても誰もが自由に外出できる環境づくりを推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり素案の作成をしていただきました「静岡市地域公共交通会議」の会長をはじめ、委員の皆様ならびに、様々なご意見をいただきました市民の皆様には、心より感謝申し上げます。



平成31年3月

静岡市長 田辺 信宏

はじめに

道路や鉄道などのインフラ整備が進み、自動車や輸送産業の発展などと共に、私たちの暮らしは豊かさを増してきました。移動が便利になることで活動範囲が広がり、新たな出会いや発見があったり、移動先での時間を有効に使えるようになるなど、私たちは、その豊かさを当たり前のように享受しています。

しかし、この先も少子高齢化が進んでいく中、いまと同じような状況でしょうか。高齢ドライバーの運転事故が後を絶たない昨今、安心安全な移動ができるのか不安にもなります。

これに対峙していくためには、自動車に過度に頼らなくても、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通を構築していくことが必要であると考えます。

この公共交通は今、人口減少・少子高齢化といった社会現象や生活スタイルの変化と共に、利用者、運転士の減少により、運行路線や便数の減少など、運行サービスが低下している状況です。こうした状況は、移動機会の減少やまちの活力低下にもつながっていくことが懸念されます。

この現象に歯止めを掛け、地域の活力を持続していくためには、今後のまちづくりと合わせて公共交通のことをしっかり考えていくことが必要です。

地域の公共交通は、与えられるものではなく、事業者の方々はもとより、地域の人々も関与し、作り育てていくものであると考えます。この度、市民代表、交通事業者、行政などの様々な関係者が共に考え、これからの公共交通のあるべき姿を示した「静岡市地域公共交通網形成計画」を作成しました。この計画を多くの方にご覧いただき、誰もが安心安全に移動できる持続可能な公共交通の実現に向け、みんなで共に取り組んでいくことが、私たちが豊かな生活を送るうえでとても大切なことではないでしょうか。

結びに、本計画の策定にあたり、活発な意見交換を行っていただいた地域公共交通会議の委員の方々をはじめ、検討の過程で多くのご意見やご提案をいただいた利用者の皆さま、事業者の皆さまに心よりお礼申し上げます。



平成31年3月 静岡市地域公共交通会議会長
静岡文化芸術大学 名誉教授 川口 宗敏

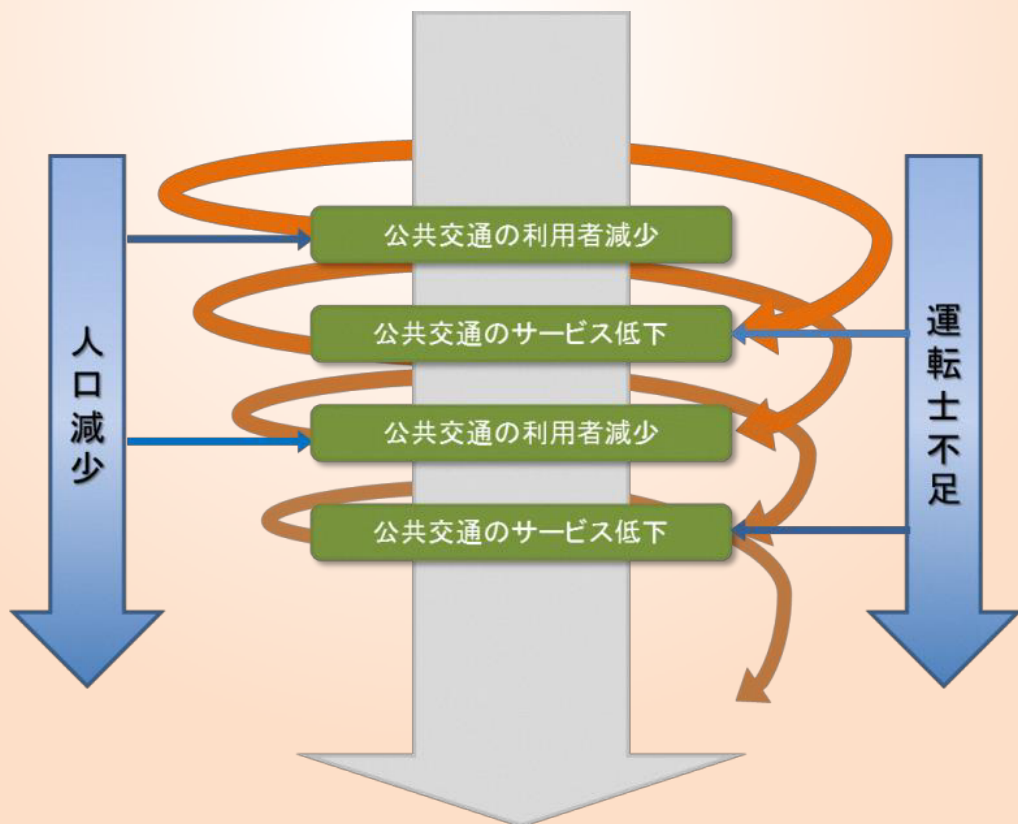
はじめに



みなさんの移動手段の確保が切実な課題
になっています

私たちが自立した生活を営む上で“移動”は欠かせないものですが、私たちの生活スタイルの変化や急激な人口減少・少子高齢化による通勤・通学者の減少など、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。

このままでは公共交通が成り立たなくなる可能性があります。



持続可能な公共交通をつくります

安心して住み続けていくためには、このような社会状況に対しても持続可能な交通システムを作り上げていく必要があります。

そこで、人口減少などの課題に対応する静岡市のコンパクトなまちづくり（立地適正化計画）とともに、公共交通それぞれの特徴を踏まえた効率的な交通ネットワークを作り上げていきます。

それに加え、公共交通の利用を促進していくことが重要です。



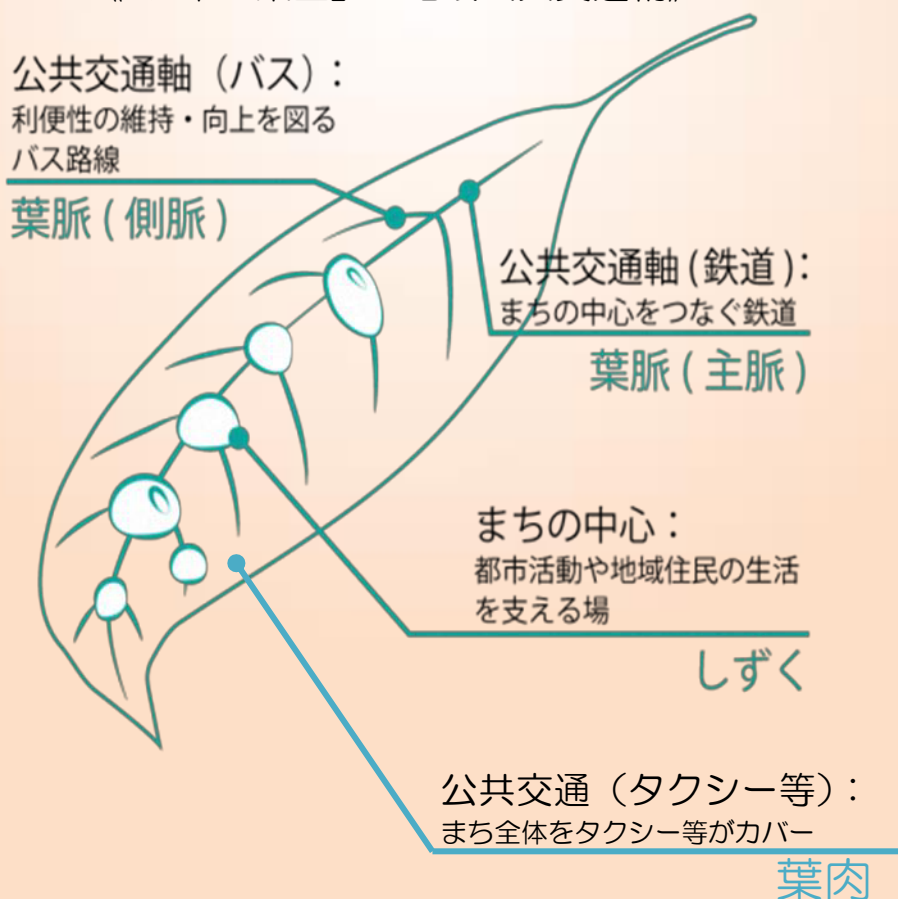
《「お茶っ葉型」の地域公共交通網》を目指します！

市を東西に走る鉄道をお茶の葉の主脈に、鉄道に接続する幹線バス路線を側脈に見立てた「お茶っ葉型」の地域公共交通網の形成により、持続可能な地域公共交通網の構築を図ります。

鉄道、バスの利用圏域外や移動の目的に応じ、機動性の高いタクシーが全体を補います。

静岡市が目指す「持続可能な地域公共交通網の姿」

《「お茶っ葉型」の地域公共交通網》



《地域公共交通網形成計画の読み方》

第1章

地域公共交通網形成計画について

地域公共交通網形成計画の背景や目的、目標年次などについて記載しています。

第2章

地域公共交通に関わるこれまでの経緯

交通関連法令や静岡市における交通政策の取組の経緯について記載しています。

第3章

将来のまちづくりの方向性と地域公共交通に求められる役割

上位・関連計画におけるまちづくりの方針とそれら計画から地域公共交通に求められる役割について記載しています。

第4章

地域公共交通の概況

静岡市における鉄道やバスおよびタクシーの状況について記載しています。

第5章

地域公共交通の現状と課題

社会情勢の変化と地域公共交通網における現状と課題および個別地区の課題への対応を記載しています。

第6章

本計画の基本方針・目標

将来の地域公共交通網実現に向けた本計画の基本方針と目標について記載しています。

第7章

基本目標の達成に向けた施策体系と実施事業

基本目標の達成に向けた施策体系と実施事業の実施主体や実施に向けたスケジュールなどについて記載しています。

第8章

施策の進め方と計画の進行管理

本計画の推進・管理体制と施策の評価など施策の進め方について記載しています。

関連
計画

立地適正化計画

コンパクトなまちづくりについては、立地適正化計画をご覧ください。

